### ①人件費の状況(普通会計決算)

年度	普通会計算出額(A)	人件費(B)	普通会計に占める人 件費の割合(B/A)
平成30年度	451億 689万円	77億8,039万円	17.2%
平成29年度	448億5,663万円	78億2,910万円	17.5%

<sup>※</sup>人件費は、市長や副市長、教育長、市議会議員、嘱託などの特別職に支給される給与・報酬などを含みます

### ②職員給与の状況(普通会計決算)

年度	職員数	給料	職員手当	期末・ 勤勉手当	合計
平成30年度	901人	35億 9,309万円	5億 736万円	13億 9,183万円	54億 9,228万円
平成29年度	911人	36億 1,924万円	5億 3,595万円	13億 7,938万円	55億 3,458万円

<sup>※</sup>職員数は、一般職の職員総数から水道や下水道などの企業会計部門の職員数 を除いたものです(⑪参照)

# ③職員の平均給料月額および平均年齢の状況(一般行政職)

平均給料月額	平均年齢
32万9,000円	44.1歳 (平成31年4月1日現在)

<sup>※</sup>給料は、給与費から諸手当を除いたものです

#### ④職員の初任給の状況(一般行政職)

区分	日光市	国	
十兴众	18万 700円	総合職	18万5,200円
大学卒	1011 /00円	一般職	18万 700円
高校卒	14万8,600円	一般職	14万8,600円

#### (5)職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(一般行政職)

マム	経験年数				
区分	10年	15年	20年		
大学卒	24万4,440円	28万9,750円	35万3,013円		
高校卒	20万2,700円	25万8,900円	該当なし		

#### ⑥一般行政職の級別職員数の状況(平成31年4月1日現在)

9 13213241									
区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	フ級	8級	
職務分類	主事 技師	主任	主査	副主幹	副主幹 (係長)	主幹(課長補佐)	副参事 (課長)	参事 (部長)	合計
職員数(人)	34	79	77	182	63	63	50	12	560
構成比(%)	6.0	14.1	13.8	32.5	11.3	11.3	8.9	2.1	100

<sup>※</sup>日光市給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。職務区分は、それぞれの級に該当する代表的な職名です

市の職員給与条例などで定められている市職員の給料や諸手当は、国や県に 国や県に準じ、 ます 市職員 民間との比較や他の地方公共団体職員との均衡を考え の給与状況をお知らせ

(25) 7008

#### ⑦期末・勤勉手当(令和元年度)

区分	期末手当	勤勉手当
6月期	1.300月分	0.895月分
12月期	1.300月分	0.945月分

※職制上の段階、職務の級などによる加算措置があります

#### ⑧退職手当(令和元年度)

区分	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.270750月分
勤続30年	34.7355月分	40.803750月分
最高限度額	47.7090月分	47.709000月分

※その他の加算措置:定年前早期退職特例措置(2~ 45%加算)

## ⑨その他の主な諸手当(令和元年度)

区分	内容(金額は月額)					
	配偶者・父母等	6,500円				
扶養手当	子など(1人につき)	10,000円				
	16~22歳の子 1人につき	5,000円加算				
住居手当	   借家	2万7,000円以内				
通勤手当	公共交通機関	運賃に応じて支給 (支給限度額5万5,000円)				
四到于日	自家用車	距離に応じて支給				

# ⑩特別職の給料・報酬など(令和元年度)

区分		月額	期末手当		
	市長	96万円	6月期	1.650月分	
給料	副市長	76万円	12月期	1.650月分	
	教育長	67万5,000円	計	3.300月分	
	議長	49万円	6月期	1.650月分	
報酬	副議長	41万円	12月期	1.650月分	
	議員	38万円	計	3.300月分	

※加算措置があります

#### ⑪職員数の状況

区分		職員数	文(人)	区分ごと増減数および		
		H30.4.1現在	H31.4.1現在	主な増減理由		
		議会	7	7		
		総務企画	225	226		
		税務	40	39		
		民生	142	143		
		衛生	62	56	○区分ごと増減数 普通会計…▲10	
	一般行政部門   	労働	4	4	公営企業等会計…増減なし	
ᄴᅜᄼᅪ		農林	33	35	全体…▲10  ○主な増減理由  事務の統廃合や人員配置の 変更などによる減少	
普通会計		商工	43	34		
		土木	60	61		
		計	616	605		
		教育	96	95		
	特別行政部門	消防	189	191	※退職者数に対して新規採用 者数を抑制し、職員数削減 を図っています	
		計	285	286		
		計	901	891	E 전 기 C 이 & 9	
公営企業等会計部門		水道	16	17		
		下水道	19	17		
		その他	36	37		
		計	71	71		
	合計		972	962		

※再任用、任期付、臨時および非常勤職員は含みません